

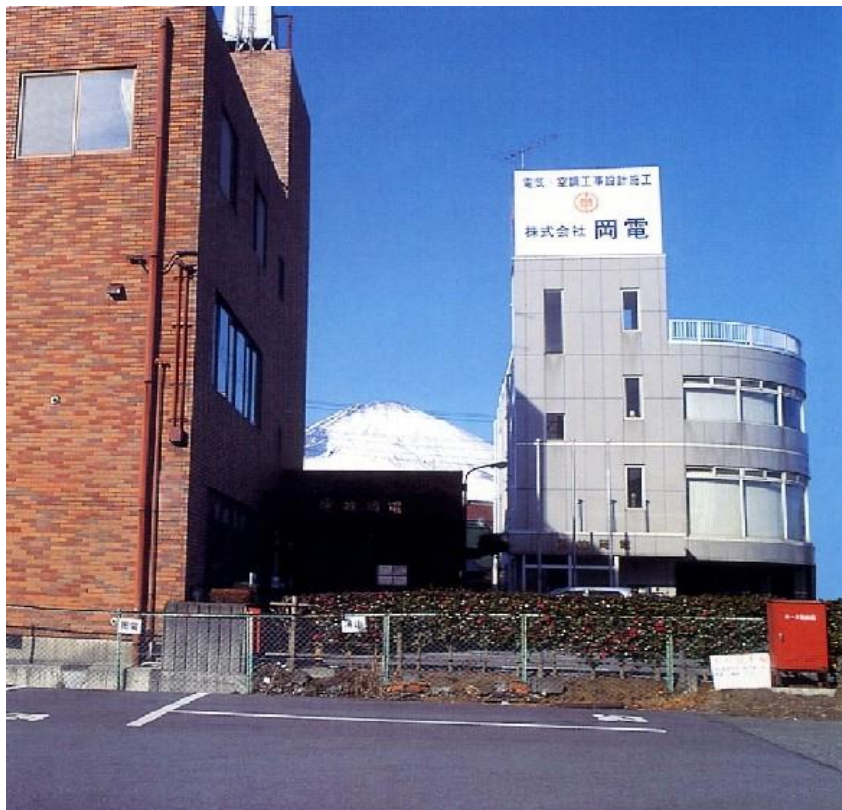


エコアクション21
認証・登録番号0008183

エコアクション21

環境活動レポート

期間；第52期（平成28年8月～平成29年7月）



発行日 平成 29 年 11 月 30 日

株式会社 岡 電

組織の概要

1, 事業所名

株式会社 岡 電

2, 代表者名

代表取締役 小野田 良夫

3, 所在地

本社 静岡県御殿場市萩原675-10
TEL 0550-82-2510
FAX 0550-83-6500

資材センター 静岡県 御殿場市二の岡1264-11
新橋倉庫 静岡県 御殿場市新橋1665

4, 環境管理の責任者及び担当者

環境管理責任者 小野田 猛
担当者 小野田 由美
Eメール; soum@kk-okaden.co.jp

5, 事業活動の内容

電気工事業
電気・空調設備工事
太陽光発電設備工事

6, 建設業許可

静岡県知事許可(特-28) 3654号

7, 事業の規模

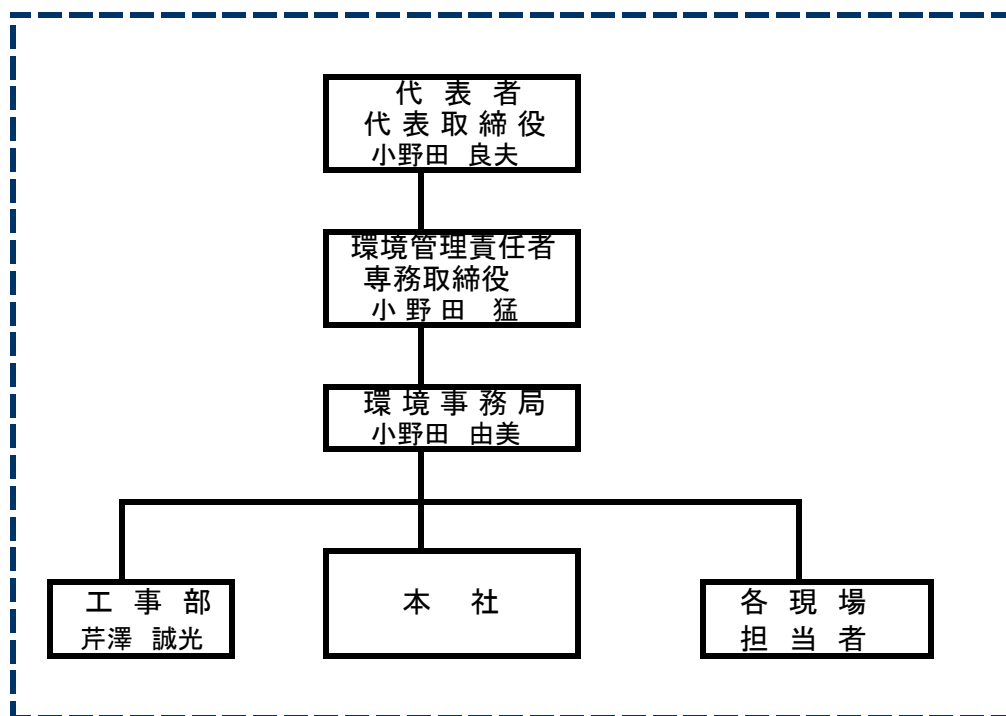
| 活動規模 | 単位 | 50期 | 51期 | 52期 |
|------|----------------|------------------|------------------|------------------|
| | | H26.8.1~H27.7.31 | H27.8.1~H28.7.31 | H28.8.1~H29.7.31 |
| 売上高 | 百万円 | 365 | 466 | 555 |
| 従業員 | 人 | 11 | 11 | 11 |
| 床面積 | m ² | 710 | 710 | 710 |

8, 事業年度

8月1日~翌年7月31日

9, 対象単位; 全社・全事業・全従業員を対象とする。

組織図および実施体制



現対象範囲
全組織・全活動します。

| 担当 | 役割・責任・権限 |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者 代表取締役 小野田 良夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21に関する代表責任者 ・エコアクション21実施における人材、設備、費用を用意する。 ・環境方針の制定、改訂及び会社員への周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する。 ・環境マネジメントシステムの承認 |
| 環境管理責任者 専務取締役 小野田 猛 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する。 ・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理 ・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示 |
| 環境事務局 経理課 小野田 由美 | <ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21における文書の作成 ・環境目標及び環境活動計画案の作成 ・環境関連法規等のとりまとめ及び遵守状況のチェック ・取組に必要な場合の手順書案 ・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の策定 ・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 ・環境活動レポートの作成 |
| 工事部責任者 芹澤 誠光 | <ul style="list-style-type: none"> ・各部門における環境マネジメントの実施 ・各記録の実施 ・問題点のチェック及び予防処置の実施 ・緊急事態の試行及び訓練の実施 |
| 社員 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の確認・理解 ・各個人における環境マネジメントシステムの実施 |

環境方針

〔基本理念〕

株式会社 岡 電は、かけがえのない地球環境の保全を常に意識し、人と環境にやさしい技術提案を行ない、資源循環型社会の構築に貢献します。

〔行動指針〕

- 1, 省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出物の抑制・削減に努めます。
- 2, 全社員が環境保全活動に取り組むよう教育を行ないます。
- 3, 環境関連の法規等を遵守します。
- 4, 事務用品や建設資材のグリーン購入に努めます。
- 5, 電気設備設計時には、省エネルギー及び環境に配慮した設計施工を積極的に提案します。
- 6, 建設機械等の燃料使用量の削減、建設リサイクルを推進します。
- 7, 建設現場等における様々な環境配慮活動推進します。
- 8, 水資源を有効活用し、節水に努めます。
- 9, 当社の環境活動等のレポートを社内外に公表します。

平成 23 年 10月 1日

株式会社 岡 電

代表取締役 小野田 良夫

環境活動目標・運用期間実績

環境目標は第51期(H27.8～H28.7)を基準年度とした基準年度比を示す。

(資材センター・新橋倉庫を追加した為)

1, 中長期目標

| 年 度 | 単 位 | 第51期実績 | 第52期 | 第53期 | 第54期 | |
|-----------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| 期 間 | | H27.8～H28.7 | H28.8～H29.7 | H29.8～H30.7 | H30.8～H31.7 | |
| 月 数 | | 12ヶ月 | 12ヶ月 | 12ヶ月 | 12ヶ月 | |
| CO2 削減 | 電力使用量 | KWh | 14,869 | -3% | -4% | -5% |
| | 倉庫等電力使用量 | KWh | 2,579 | -1% | -2% | -3% |
| | ガソリン使用量(事務所) | L | 3,652 | -10% | ### | -10% |
| | 〃 (現場) | L | 4,002 | -1% | -1% | -1% |
| | 総排出量 | Kg-CO2 | 44,217 | -7% | -8% | -8% |
| 節水 | 水使用量 | m3 | 42 | -2% | -3% | -3% |
| 廃棄物 | 一般廃棄物の削減 | トン | 0.9 | -2% | -3% | -3% |
| | 混合廃棄物の削減 | トン | 22 | -2% | -3% | -3% |
| | グリーン購入 | % | 98 | 98%以上 | 98%以上 | 98%以上 |
| | 省エネ提案 | % | 98 | 98%以上 | 98%以上 | 98%以上 |

※二酸化炭素係数;東京電力0.384を使用

2, 運用期間実績

| 年 度 | 基準年度 | 第52期 | 第52期 | 取組結果 | | | |
|-----|--------------|-------------|-------------|-------|--------|------|---|
| 期 間 | 単 位 | H28.8～H29.7 | H28.8～H29.7 | 削減率 | 評 価 | | |
| 月 数 | | 12ヶ月 | 12ヶ月 | | | | |
| CO2 | 電力使用量 | KWh | 14,869 | -3% | 16,595 | 112% | × |
| | 倉庫等電力使用量 | KWh | 2,579 | -1% | 4,339 | 168% | × |
| | ガソリン使用量(事務所) | L | 3,652 | -10% | 2,295 | -33% | ○ |
| | 〃 (現場) | L | 4,002 | -1% | 4,530 | 113% | × |
| | 総排出量 | Kg-CO2 | 44,217 | -7% | 39,005 | 88% | ○ |
| 節水 | 水使用量 | m3 | 42 | -2% | 42 | 100% | △ |
| 廃棄物 | 一般廃棄物の削減 | トン | 0.9 | -2% | 0.9 | 100% | △ |
| | 混合廃棄物の削減 | トン | 22 | -2% | 31.3 | 142% | × |
| | グリーン購入 | % | 98 | 98%以上 | 98 | 100% | ○ |
| | 省エネ提案 | % | 98 | 98%以上 | 98 | 100% | ○ |

環境活動計画の評価と今後の取り組み

| 活動項目 | 評価 | 今後の取組 |
|-----------------------------|--------------------|-------|
| 1, 二酸化炭素排出量の低減 | | |
| ① ガソリン・軽油使用量の削減 | | |
| 急発進・急加速・急ブレーキの禁止 | ○ 常時心がけた | 継続実施 |
| 不必要な荷物を降ろす | ○ 車内の整理整頓した | 継続実施 |
| 計画的な運転ルートでの走行 | ○ 走行距離の把握 | 継続実施 |
| アイドリングストップの実行 | ○ 常時実行に心がけた | 継続実施 |
| タイヤの空気圧を適正にする | △ 年2回確認 | 継続実施 |
| 低燃費車の購入 | ○ ハイブリッド車の購入 | 継続実施 |
| ② 電力使用量削減 | | |
| 室内温度管理の実施 | ○ 表示・常時室温管理する | 継続実施 |
| エアコンフィルターの定期清掃 | ○ 年1回清掃 | 継続実施 |
| 省エネ機器の設置 | ○ 消エネファンヒーター購入水回り省 | 継続実施 |
| 省エネタイプ・LED照明への切替え | ○ LEDランプ取付済 | 継続実施 |
| 不要な照明の消灯 | ○ 掲示・常時心がけ | 継続実施 |
| 太陽光発電の取り組み | ○ 社屋屋上に設置済み | 継続実施 |
| 夏場の扇風機使用 | ○ 夏場使用 | 継続実施 |
| ③ 灯油使用量削減 | | |
| 暖房温度管理 | ○ 省エネファンヒーターへの取替 | 継続実施 |
| 2, 産業廃棄物の削減及びリサイクル | | |
| 建設廃材を分別する | ○ 掲示 常時心がけ | 継続実施 |
| 銅線屑・空ドラム等はリサイクル専門業者へ | ○ リサイクル促進への心がけ | 継続実施 |
| 建設廃材等で再利用が可能なものは使用する | ○ リサイクル促進への心がけ | 継続実施 |
| 建設廃材のリサイクル工場等を探しリサイクル原料とする | ○ リサイクル促進への心がけ | 継続実施 |
| 一般廃棄物削減に努める | ○ 常時心掛ける | 継続実施 |
| 紙・ダンボール等のリサイクル促進 | ○ 業者・障害者福祉施設へ | 継続実施 |
| 分別ステーション設置 | ○ リサイクルの意識向上 | 継続実施 |
| 裏紙使用 | ○ 裏紙設置場所整える | 継続実施 |
| 電子化によりコピー枚数削減 | ○ メールの使用 | 継続実施 |
| 3, 建設機械等の自主点検整備を実施する | | |
| 建設機械等の点検 | ○ 建設機械の年次点検実施 | 継続実施 |
| 建設機械等の省エネ運転を実施する | ○ アイドリング運転の心がけ | 継続実施 |
| 4, 排水量削減 | | |
| 節水の取り組み | ○ 掲示 | 継続実施 |
| 5, グリーン購入の促進 | | |
| 購入時の確認 | ○ グリーン商品をなるべく購入 | 継続実施 |
| 6, 省エネの提案 | | |
| 太陽光発電 LED照明など省エネ提案 | ○ 顧客の関心高い | 継続実施 |

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

最新版確認 平成29年9月30日

評価 平成29年7月31日

| 環境関連法規等の名称 | 規制内容 | 規制詳細 | 規制の適用 | 遵守状況 |
|--------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------|
| 廃棄物処理法 | 事業者の責務 | 廃棄物の適正処理。施策協力(法12条第3項) | 産業廃棄物排出時 | 遵守 |
| | 産業廃棄物処理 | 事業者の責任で自ら処理 | | 遵守 |
| | 一般産業廃棄物処理 | 御殿場市一般産業廃棄物処理の条例 | | |
| | 産業廃棄物保管 | 飛散、流出の防止 保管場所に掲示板(法12条) | | 遵守 |
| | 産業廃棄物委託基準 | 運搬、処分許可業者との委託契約(法12条第3項) 契約書に許可証の写しを添付 契約書を5年間保管(終了日より) | | 遵守 |
| | 産業廃棄物管理票 | 管理票(マニフェスト)の交付 B2票を10日以内に受領 D票を90日 E票を180日以内に回収 管理票の写しを5年間保存(法12条 第3項) 排出業者は、毎年6月30日 までに県知事に実績報告書提出(法第8条) | | 遵守 |
| 電気事業法 | 電気工作物の工事、維持及び運用を規制 | 工事基準の確認(第1条) | 有資格者による法に基づいた建設現場の施工 | 遵守 |
| 建設業法 | 工事業者登録と更新及び技術士登録 | 登録と5年ごとの更新及び資格者登録(第3条) | | 遵守 |
| 家電リサイクル法 | 特定家庭用機器のリサイクル | 廃棄時、有料にて適切な引渡し(第6条) | 特定家電排出時 | 遵守 |
| 環境基本法 | 再資源の利用 | 一般的な自主努力(法第8条) | | 遵守 |
| 循環型社会形成推進基本法 | 3Rへの努力 | リサイクル対策の推進(法第11条) | | 遵守 |
| グリーン購入法 | | 環境物品の購入(法第5条) | 物品購入時 | 遵守 |
| 建設リサイクル法 | | 建設副産物の再利用計画を提出(法第9条) | 公共工事受注時 | 遵守 |
| 騒音・消音・振動規制法 | 特定設備・時間 | 建設工事に伴う対象設備・時間の届け出(法第14条 第1項) | 公共工事受注時 | 遵守 |
| 自動車リサイクル法 | | 引き取り業者への引渡し(法第5条) | 車輛廃車時 | 遵守 |
| 道路法 | | 継続して道路を使用する対象物件の許可申請(法第22条) | 県警受注契約時 | 遵守 |

違反・訴訟等

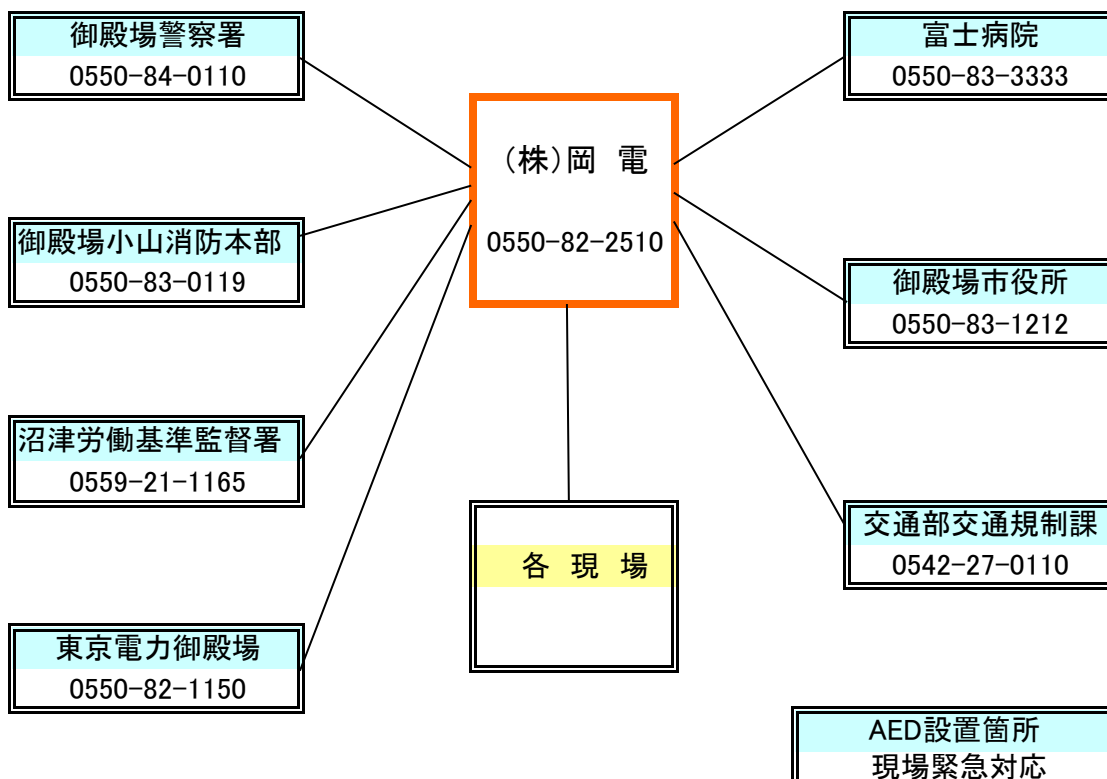
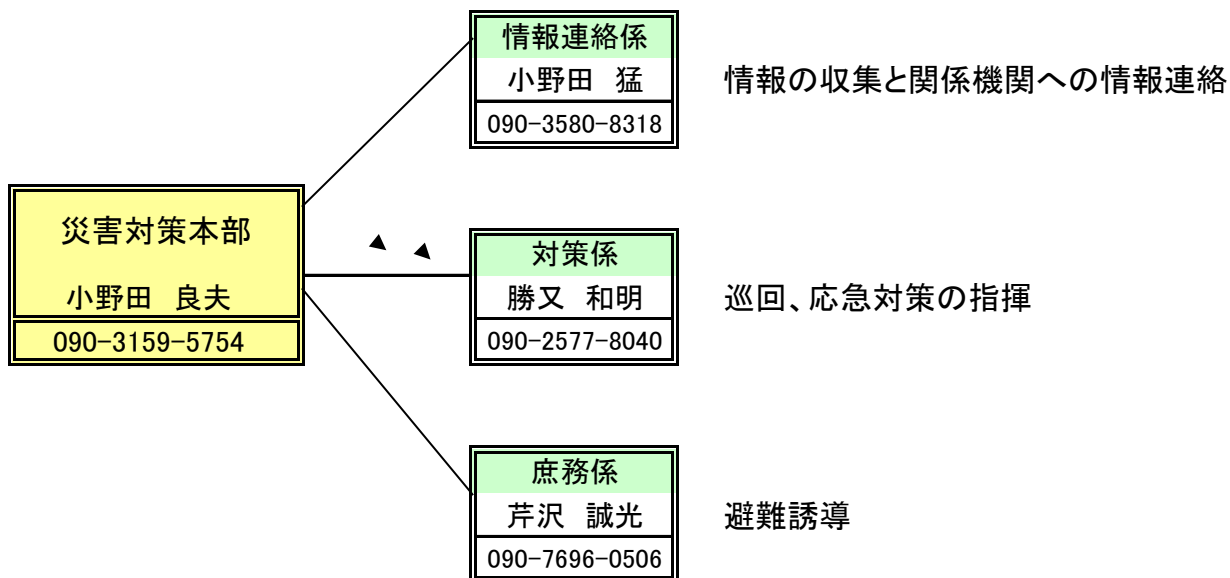
事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、過去3年間関係当局及び近隣より、違反・苦情・訴訟等はありませんでした。

緊急時の体制

地震、大雨、出水、強風等の異常気象で災害発生のおそれがある場合、次の組織構成で体制に入り必要に応じ現場内をパトロールし警戒する。

なお、異常時に備え現場には土俵、工具、照明器具を常備する。

また、作業現場において事故発生、又はそのおそれがある場合、直ちに体制に入る。現場代理人以下現場構成表の各担当は職務に応じて行動する。



環境活動計画実施状況

奉仕作業参加 ……………設備協会による清掃作業



インク・トナーのリサイクル



省エネタイプの暖房機購入



トイレ改修



ハンドドライ設置



省エネ車購入



代表者による評価

52期は、基準年度と比較し総排出量は削減出来ましたが、全体的に悪い方向になってしまいました。これは、前期より完成工事高で20%増となり、担当者の兼任現場が増えた事、又、沼津等の前期より遠くの現場があった事などが考えられます。しかし、本社では省エネ設備の導入・エコカー購入など積極的に取り組み、各職員もCO2・廃棄物削減等を常に意識して取り組んでいますので、利益率はよくなっています。これからも継続して努力します。

平成29年 11月30日

株式会社 岡 電

代表取締役 小野田良夫

52期以降中長期目標

環境目標は第46期(H22.8~H23.7)を基準年度とした基準年度比を示す。
 新規に、資材センター・新橋倉庫を対象としたので、電力使用量については、
 第52期に設定します。

中長期目標

| 年 度 | 単 位 | 基準年度 | 第53期 | 第54期 | 第55期 | |
|-----------|--------------|--------|---------------|---------------|---------------|--------|
| 期 間 | | | H29. 8~H30. 7 | H30. 8~H31. 7 | H30. 8~H31. 7 | |
| 月 数 | | 12ヶ月 | 12ヶ月 | 12ヶ月 | 12ヶ月 | |
| CO2 削減 | 電力使用量 | KWh | 14,869 | 4% | 5% | 6% |
| | 倉庫電力使用量 | KWh | 2,579 | 2% | 3% | 4% |
| | ガソリン使用量(事務所) | L | 3,652 | -10% | -10% | -10% |
| | 〃 (現場) | L | 4,002 | -1% | -1% | -1% |
| | 総排出量 | Kg-CO2 | 44,217 | -8% | -8% | -8% |
| 節水 | 水使用量 | m3 | 42 | -3% | -3% | -3% |
| 廃棄物 | 一般廃棄物の削減 | トン | 0.9 | -3% | -3% | -3% |
| | 混合廃棄物の削減 | トン | 22 | -3% | -3% | -3% |
| | グリーン購入 | % | 98%以上 | 98% 以上 | 98% 以上 | 98% 以上 |
| | 省エネ提案 | % | 98%以上 | 98% 以上 | 98% 以上 | 98% 以上 |

※二酸化炭素係数0.384を使用

※環境に配慮した施工については、活動のみにする。

